

# Mizuho Daily Market Report

2024/2/5

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.63	148.38	+1.95	+0.23
EUR	1.0881	1.0788	▲0.0084	▲0.0065
AUD	0.6591	0.6512	▲0.0060	▲0.0063
SGD	1.3359	1.3429	+0.0063	+0.0018
CNY	7.1799	7.1935	+0.0130	+0.0161
MYR	4.7228	4.7170	▲0.0160	▲0.0130
THB	35.30	35.25	▲0.21	▲0.38
IDR	15659	15658	▲107	▲162
PHP	55.92	55.93	▲0.20	▲0.40
INR	82.87	82.93	▲0.05	▲0.19
VND	24392	24353	▲57	▲252

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.020%	+14.0 bp	▲11.7 bp
日本(10年)	0.672%	▲3.3 bp	▲4.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.241%	+9.2 bp	▲5.8 bp
オーストラリア(5年)	3.594%	▲1.9 bp	▲25.7 bp
シンガポール(5年)	2.792%	▲3.3 bp	▲8.3 bp
中国(5年)	2.295%	▲1.2 bp	▲6.3 bp
マレーシア(5年)	3.504%	▲3.6 bp	▲4.7 bp
タイ(5年)	2.361%	▲1.1 bp	▲3.5 bp
インドネシア(5年)	6.431%	▲2.5 bp	▲12.8 bp
フィリピン(5年)	5.984%	▲0.3 bp	▲1.6 bp
インド(5年)	7.013%	▲2.1 bp	▲7.3 bp
ベトナム(5年)	1.600%	+0.0 bp	▲15.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,654.42	+0.3%	+1.4%
N225(日本)	36,158.02	+0.4%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,654.55	+0.3%	+0.4%
ASX(オーストラリア)	4,160.19	▲0.0%	▲0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,179.77	+1.2%	+0.6%
SSEC(中国)	2,730.15	▲1.5%	▲6.2%
SENSEX(インド)	72,085.63	+0.6%	+2.0%
JKSE(インドネシア)	7,238.79	+0.5%	+1.4%
KLSE(マレーシア)	1,516.58	+0.2%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,707.25	+1.3%	+0.3%
SETI(タイ)	1,384.08	+1.2%	+1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,172.55	▲0.0%	▲0.3%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	267.74	▲0.7%	▲2.1%
金	2,039.76	▲0.7%	+1.1%
原油(WTI)	72.28	▲2.1%	▲7.3%
銅	8,374.34	▲0.6%	▲0.9%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	—	149.00
EUR/USD	1.0780	—	1.0900
AUD/USD	0.6500	—	0.6650
USD/SGD	1.3340	—	1.3440
USD/CNY	7.1700	—	7.2100
USD/INR	4.7120	—	4.7500
USD/THB	35.00	—	35.90
USD/IDR	15750	—	15850
USD/PHP	56.00	—	56.60
USD/INR	82.70	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,600

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は146円台半ば付近でオープン。日銀政策決定会合・FOMCと注目イベントが終了し、米雇用統計の発表を控えドル円は終始限定的な値動きとなった。結局、ドル円は146円台後半でクロスした。アジア通貨は米国株上昇の動きを受けたリスクオンの流れから総じて上昇する展開。

海外市場のドル円は146円台半ばでスタート。注目の米雇用統計の結果発表を控え、146.40付近を挟んだ狭い値動きが続き、146円半ば付近でNYオープン。NY時間朝方に発表された米1月非農業部門雇用者数変化指数と平均時給予想を上回り、失業率も予想を下回った事を受け、米労働市場が依然逼迫している思惑から、ドル買いが優勢となる。その後に発表された米1月ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率が上方修正された事を背景にドル買いの流れが続き148.58まで上伸。午後は買い一巡となり、148.30付近まで反落。その後週末を控え、次第に動意乏しくなり、148円前半でクロス。

## 【金利】

米金利市場は、大幅上昇。中期ゾーンで特に上昇し、イールドカーブはややフラット化。NY時間朝方に市場注目の1月雇用統計が発表され、内容は雇用者数変化各種、失業率、平均時給などが軒並み予想比強い内容となったことで、発表後債券売りが急速に強まり、金利は大幅上昇となった。10年債利回りは4%を上げてその後の取引を終えた。これにより早期利下げ観測が後退し、3月FOMCは据え置き予想が強まり、その後の5月会合の利下げ確率も低下した。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想する。注目されていた米雇用統計が予想対比強い結果だったことを受け、FRBによる早期利下げ観測が後退している一方で、1月日銀金融政策決定会合後の植田総裁記者会見にて「マイナス金利を解除しても極めて緩和的な環境が続く」との発言があったことから円買い材料に乏しいと考えられる。

## 【本日の予定】

(アジア) 1月 タイ CPI  
(アジア) 1月 ベトナム 国内自動車販売台数  
(アジア) 1月 豪 多倫多インスティテュート インフレ  
(アジア) 4Q インドネシア GDP  
(アジア) 4Q 豪 小売売上高インフレ調整前  
(アジア) インドネシア 年間GDP  
(アジア) 休場 マレーシア、NZ  
(欧州) 12月 ユーロ圏 小売売上高  
(欧州) 12月 独 製造業受注  
(欧州) 1月 独 建設業PMI  
(欧州) 1月 英 建設業PMI  
(欧州) 1月 英 新車登録台数  
(欧州) 2月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。